請　願　文　書　表

受理番号	請　願　第　５　号
件　　名	透析患者が特別養護老人ホームに入所できる施策の推進について
紹介議員	金子益夫，渡辺有子，山田洋子，渡辺和光，小林義昭，永井武弘， 佐藤　誠，中山　均，深谷成信
要　　旨	平成22年11月現在，新潟市内の慢性腎不全による透析患者は，約1,700名おり，そのうち４割強の700名が70歳以上の高齢者で年々増加しています。高齢化や長期透析による合併症で自力で通院できない透析患者がふえており，加えて独居高齢者や老々介護世帯の増加などで，通院支援や入所施設の確保が喫緊の課題となっています。 現在，新潟市では特別養護老人ホーム整備を促進する計画を進めており，このことは入所を待ち望んでいる高齢者にとって大きな朗報です。しかし，施設はできても透析患者はその恩恵を享受できないのが現実です。週３回の透析通院は命を長らえるために欠かすことができず，施設のとってこのことが大きな負担となるためだと思われます。 高齢化が進む中で，透析患者が抱える不安はますます大きくなっています。そこで，次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たり，特別養護老人ホームへの腎透析患者の入所を促進する施策の推進のために，下記事項の実現に向けて取り組むよう要望いたします。何とぞ透析患者の切実な願いをお聞き届けいただきますようお願いいたします。 記 １　現在進めている特別養護老人ホームの前倒し整備に当たっては，特別養護老人ホームと透析施設との間を容易に移動できる一体型施設の推進や施設と病院の連携運営の導入など，透析患者入所につながる取り組みを推進すること。 （裏面につづく）
付託 年月日 委員会	平成23年９月14日　第１項，第２項　市民厚生常任委員会
受　　理	平成23年９月８日　第２７９号

請願第５号

	2　特別養護老人ホームへの入所が必要な腎透析患者の入所が可能となるよう，既存の特別養護老人ホームについて，透析施設の併設整備等にあわせた特別養護老人ホームの定員増加を認めるなど柔軟に対応すること。